

糖 負 荷 試 験

予約日時： 月 日： 時 分

糖尿病は、血液中の糖（血糖）を調節するホルモン（インスリン）が不足するか、働きが弱いために血糖が高くなってしまいう病気です。その結果尿の中に糖が漏れてきます。

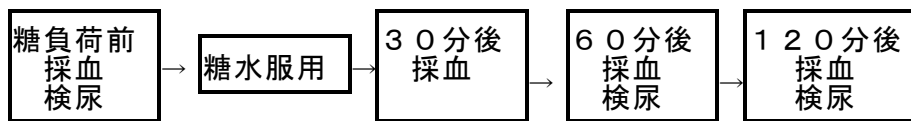
血糖が高いと血管壁がこわれて脳や心臓の病気を起こしやすくなります。さらに三大合併症と言われる眼の網膜症（失明することもあります）、腎症（透析が必要となることもあります）、末梢神経障害（手足のシビレ、下痢、便秘等）などが起こります。早期に発見して正しい治療を継続し、合併症の発生を予防することが大切です。

糖負荷試験では、砂糖水を飲んだ後の血糖、尿糖の値を測定します。この値から糖尿病があるのか、その程度はどの位かなどを判定して今後の治療方針に役立てます。

< 注 意 事 項 >

- * 前日の食事は普通に食べて下さい。（夜9時前に終了して下さい）
- * 検査の日は起床後、飲んだり食べたりしないで、おいでください。
- * 来院してすぐに検尿します。
- * 検査には、2時間かかります。この間は待合室で静かに座って待っていてください。その間に飲んだり、食べたりしてはいけません。
- * 結果は約1週間後に出ますから、必ず聞きに来て下さい。
- * 予約を変更される時、早めにご連絡ください。

検 査 の 手 順



糖負荷試験の結果による糖尿病の判定基準（日本糖尿病学会）

	正常型	境界型	糖尿病型
負荷前血糖値 (mg/dl)	110未満	いずれにも	126以上
負荷後2時間血糖値	140未満	属さない	200以上
	(両方を満たす)		(いずれかを満たす)

境界型の結果には、正常人が何らかの異常で血糖値が上昇した場合と、軽い糖尿病の人の場合とがあり、注意深く経過観察し、再検査をする必要があります。

随時測定した血糖値が200mg/dl以上、HbA1c（NGSP）6.5%以上の時も、糖尿病と診断されます。